

和の文様

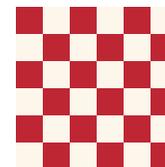
青海波（せいがいは）

青海波は、広い海がもたらす恩恵を感じさせる柄で、無限に広がる波の文様に未来永劫へと続く幸せへの願いと、人々の平安な暮らしへの願いが込められた



市松模様（いちまつ）

市松模様は、その柄が途切れることなく続いて行くことから、繁栄の意味が込められています。



立涌（たてわく）

湧き立つような二本の線が左右に膨らんだりくぼんだりしながら伸び、水蒸気が湧き立ちのぼっていく様子を表した文様



鱗（うろこ）

三角形を3つ合わせたものは特に「三つ鱗」と呼ばれ、北条家の家紋としても有名です。

- 鱗文様も魔除けの意味を持っているとされています。
- また、脱皮を繰り返す蛇は生命力を象徴する生きものとされていたため「再生」の意味もあります。



亀甲（きっこう）

亀甲文様（きっこうもんよう）は、日本の伝統的な吉祥文様のひとつです。

この吉祥文様は、めでたく、縁起の良い柄として長年継承されてきた文様のこと。



七宝（しっぽう）

円形が永遠に連鎖し繋がるこの柄に、円満、調和、ご縁などの願いが込められた縁起の良い柄です。



矢絰（やがすり）

矢絰とは、矢羽根をモチーフにした日本で古くから使われている絰（かすり）織物のことです。

矢絰は、桃山時代に武士の着物として用いられるようになり、江戸時代後期以降は縁起物として使われるようにもなりました。

